

## 地域力、学習力を高める教育を

～学校・家庭・地域が一体に～



み ち へ り  
た つ 辰  
さ と う 藤  
佐 藤 辰 己

**質**

人間形成に重要な若年期の経験・学習状況調査では、「勉強が大切」と多くの児童が認識しながら「授業がよくわからない」と報告。全国一斉テストの結果に対する評価と対策は。

**答**

教育長

小学校では、県や全国平均を上回りましたが、中学校では下回る結果でした。

**質**

学習意欲が高まる授業改善が必要であり、「わかる授業」「学習規律の徹底」が重要です。平成26年度の達成目標を設定し、今後も小・中学校9年間で学力の向上を図っていくことを重点課題にしながら取り組みを進めていきます。

**答**

教育長

学校訪問を通じ、子ども達の様子や学校の状況を観察し、30人以上での学級指導の困難さを認識しています。学級編制については、事後の届出制となり、市教委の判断に委ねられるようになりましたが、今後の児童・生徒数の推移から考えれば、現状の市負担臨時講師の配置による対応の可能性を探っていきたいと考えています。

**質**

虐待は人権としても、生活常識としてもあつてはいけない。市民が対応、解決に向け、一丸となる必要があるが、現状把握と対応、対策は。

**答**

市長

児童虐待を把握した場合は、48時間以内に安全確認をすることとされていますし、緊急時には昼夜にかかわらず対応することがあります。

あつてはいけない虐待ぎやくたい

情報収集や相談活動に積極的に取り組む

「市要保護児童対策地域協議会」を設置し、医師会や民生児童委員協議会、豊後大野警察署など18の関係機関で構成し、情報共有と支援の在り方について方

針と情報交換を行っていきます。

子どもの健全な成長のために、虐待防止に向けた広報や周知活動などあらゆる機会を通じて実施しています。



さしのべた  
その手がいつかの  
命綱

## 行政区再編は進んでいるか

～全体として進んでいない～



かわのゆうじ  
**川野 優 治**

**質**

市が取り組んできた行政区再編の経緯は。

**答** 市長

平成18年度に策定された行政区再編計画は、252区の行政区を136区へ移行することを目標とし、行政区の自主性を尊重することを第一に置き、地域住民の実情や意見を聞きながら行っています。町別の進捗率は千歳町で100%、犬飼町で89.3%、清川町で33.3%、三重町で15.4%、朝地町で8%であり、市全体で

は39%であり、全体として進んでいないのが現状です。

なお、大野町は一部を除いて町村合併以前に再編に取り組んでいます。

**質**

このままでは行政区再編は進みそうにない。そこで、財政事情が厳しい折ではあるが、何らかの財政的支援、例えば自治公民館の建設に対する補助率を少し上げるなどの支援はできないのか。

**答** 教育長

公民館の建設などについては、300万円を上限とする補助の制度がありますので、それに向けて他のところと一緒に他という話を作りたいという話があれば、それは検討できると思っています。

**質**

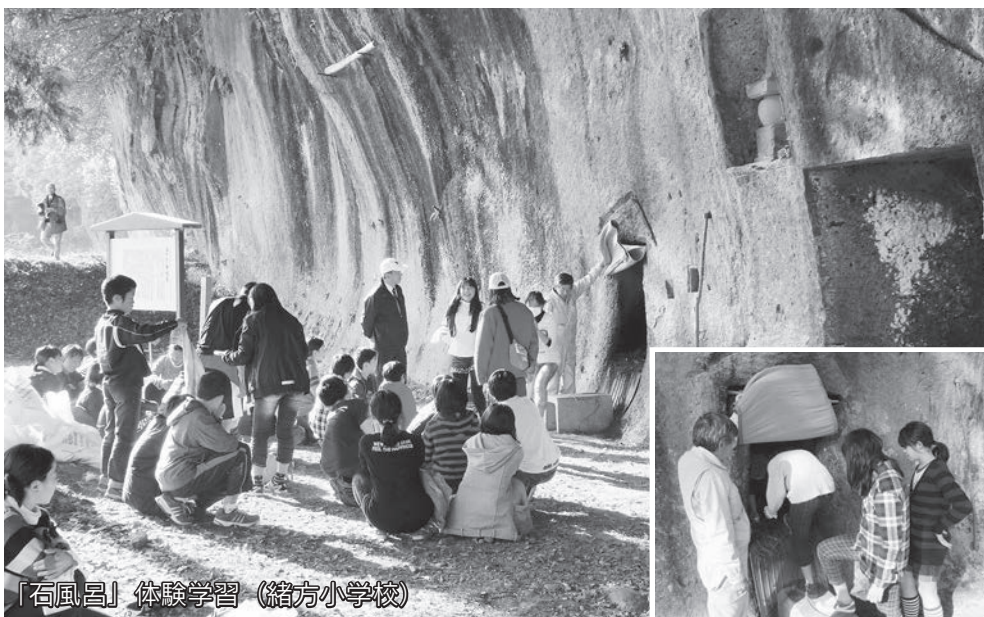
特色ある学校づくり事業の実践として行われているふるさと学習と食育の具体的内容は。

**答** 教育長

地域の石造文化のジオサイトなど、調べ学習を通して地域との関わりを調べている学校や、源氏ボタルの餌となるニナなどの生息している川の状態を調べながら地域環境について調べている学校、伝統食などをこの特色ある学校づくり事業の中で展開をさせていただいています。

特色ある学校づくり事業は  
どのような活動をしているのか

各学校が独自にやっている



「石風呂」体験学習（緒方小学校）

※ ジオサイト＝地質、地形、歴史などそのジオパークを特色づける見どころ。